



状況の意味付けの揺れ

君島 浩、シニア教育デザイナー
ISO・医療業務支援部、筑波大学附属病院

2011.2.10

状況の意味付けの揺れ

1



概要

- 医療ミスの防止には、言葉の意味の揺れが障害になる。文化の異なる患者、家族、医師、看護師、技師、事務職などの間では、言葉の意味がずれやすい。
- 言葉の意味の揺れを重視してもらうための教材を企画した。医療ミスに見られる事例を用いるのも有効であるが、医療以外の業種の教育にも使えるように一般的かつ印象的な事例を収集したので紹介する。

2011.2.10

状況の意味付けの揺れ

2



専門家の妄想: ハドソン川の奇跡

- 2009年1月 NY空港を離陸した旅客機のジェットエンジンが鳥に衝突して停止し、旅客機はハドソン川へ不時着して、全員無事だった。
- 日本では「鳥の吸い込み」「鳥の巻き込み」「鳥の飛び込み」という報道
- 衝突するだけで強化ガラスは壊れる。エンジン合金は普通は大丈夫



- 事故機は安全係数を低くしすぎた時期の例外的な機種
- 間違いの出所は通信社や文筆・報道出身の航空評論家
- ドキュメンタリ番組制作は時間があるのに、字幕は「鳥を巻き込んだ」

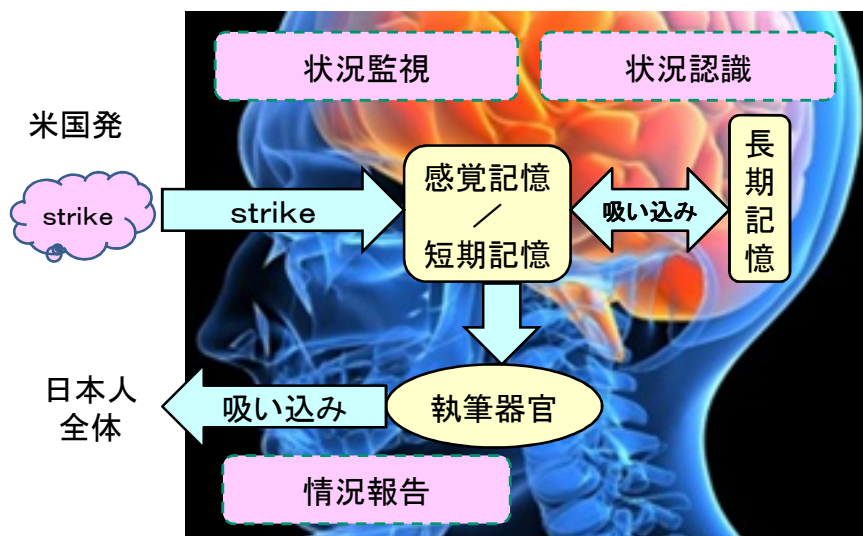
2011.2.10

状況の意味付けの揺れ

3



専門家の記憶が日本人全体の共有情報へ



2011.2.10

状況の意味付けの揺れ

4



端緒群の重み付け:同時多発テロの報道量

私が言葉の揺れに注目する契機になった事例

- 犠牲者という和訳に疑問を感じて、英文記事を調査
- 米国の報道量はNY=DoD=シャンクスビル
- 日本の報道量の比は、100>10>1ぐらい
 - 視覚的な**状況**の迫力の比か
- 日本に例えれば3か所とも**情況**に重みがある
 - 新宿の高層ビルで、2749人が被害死(victim)
 - 市ヶ谷の防衛省で、197人の職員が殉職(sacrificed)
 - 首相官邸の約5百人の職員を救った40人の英雄(hero)
- 日本人と米国人との情報共有の手段が断たれた
- 日本は報道操作国家

2011.2.10

状況の意味付けの揺れ

5



例外認識自慢:名選手必ずしも名監督ならず

- 例外を取り上げて知ったかぶりする例
- 経歴(キャリア)の統計を視野に入れない部分潔癖症
- 監督はすべて名選手であった。一人の例外を除いて
 - オールスター、ベストナイン、各種成績の1位表彰など
- 名監督の資質があっても、競争でBクラスになる
- ただ一人の例外の上田利治監督は優勝した



「凡選手必ずしも凡監督ならず」

2011.2.10

状況の意味付けの揺れ

6



説明性: 小沢一郎氏の政治資金疑惑

- 説明責任? 意味不明
 - accountabilityの特徴は記録を根拠にすること
 - 説明用に規則や実施記録を残す行為が必要
- 政治資金規制法では代表者の責任はない
 - 部下にだけ責任がある緩い法
 - 代表者が介入行為をした時だけ問題だが
 - 介入行為をしても口頭では、説明性が乏しい
 - 介入行為をしていないとしたら説明困難
- 緩い法と言葉の揺れが首相への道を阻んだ
 - 2011年4月の統一地方選挙の思惑が影響

2011.2.10

状況の意味付けの揺れ

7



トヨタ自動車の急加速問題

- 米国では「意図しない加速」と報道
 - ずれた床マットがアクセルの戻りを邪魔する。
推測: 未舗装の自然豊かな生活環境が多い
 - ABSの制動時間が従来機種より長いのが不安
推測: 方向転換による安全のために長めに
 - フリーウェイで速度が勝手に上がる。
推測: 着座姿勢が変な運転者の踏み間違い
- 日本では「急加速」や「突然の加速」と報道
 - 急加速は意味不明。捏造は日本だけ。
 - 並みの自動車は急加速する性能を持たない

2011.2.10

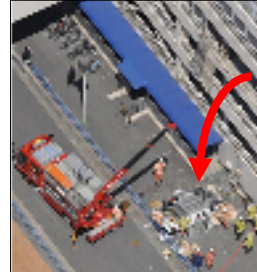
状況の意味付けの揺れ

8



日本でもアクセル踏み間違い事故

■ 稚内市、八尾市



- 根本原因が周知されない
 - メカ改造の意見あり。シフトロック装置でも防げなかったのに
 - 知識の個人差:ブレーキの操作手順が変則的な人
 - 身体の個人差:着座姿勢が変則的な人
- 右後方を確認する時も要注意

2011.2.10

状況の意味付けの揺れ

9



常套句「電撃」「突然」「いきなり」

- 電撃婚約(約束が決まる前に予告できるか?)
- 挙手を挙げた(葬式ですか?)
- 犯罪を犯す。犯罪を行う。罪を犯す。法を犯す。??
- 大原さんに男は**いきなり**「殺すぞ」と叫び、馬乗りになって刺したという。(毎日、時事通信、日経)
- 大原さんが訪ねてきた男に「殺してやる」と、**いきなり**刃物で腹を刺され・・・(産経)
- 訪ねてきた男が、応対した大原さんの腹を**いきなり**刃物で刺し・・・(東京新聞)
- 各紙が不統一ということは警察リリースにない捏造

2011.2.10

状況の意味付けの揺れ

10



有事は記事に。無事は記事にならない

- 地震では建物は倒壊しない
- 地震研究者の近藤伸也氏に撮ってきてもらった写真（中越地震、2004年）私や近藤氏は昼間までいた。
- 四川地震でも都市部は無事



- ハイチ地震の国連職員101人ホテルの一部を借用 強度不足で補強申請中だった
- 倒壊した建物には例外的な事情がある



2011.2.10

状況の意味付けの揺れ

11



沈黙の意味：シャンクスビル記念式典

- 2002年の同時多発テロ1周年記念式典
- ブッシュ大統領
 - 国防総省 演説した。殉職者のために。
 - シャンクスビル 無言で献花。英雄のために。
- 英雄の賛美は語り尽くしているのに、演説するのは失礼
- 地元のオーケストラのほかに、海兵隊バンドも演奏した。
 - 軍人並みの扱いという意味

2011.2.10

状況の意味付けの揺れ

12



音楽の教養: 賛美歌

- スエアリンジェン作曲「勇敢なる飛行」
 - 「Flight of Valor(武勇)」 軍人並みの扱いの意味
- 日本の吹奏楽部でも人気
 - 追悼曲として解釈されている
- 賛美歌をアレンジした賛美の曲である
- 国連のハイチ地震殉職者の式典でも賛美歌が



2011.2.10

状況の意味付けの揺れ

13



rememberの意味: 追悼式?

- 意味1. (過去を)想い出す。
- 意味2. (将来へ向けて)覚える。「真珠湾を忘れるな」
- 2010年3月 国連職員のハイチ地震犠牲者記念式
 - 日本の報道
 - 犠牲者101人の生前をしのんで、悲しみにひたる追悼式
 - 米国の報道
 - 殉職者101人の業績を讃えて、今後も記憶に残す記念式
 - 意味が全く違う
 - 時間軸の方向が逆
 - 日本は自分の感覚。日本は受け身。
 - 米国は死者が主役。米国は前向き。

2011.2.10

状況の意味付けの揺れ

14



rememberの意味: 写真と姓名

- 2010年3月 国連職員のハイチ地震犠牲者追悼式
- 101人の殉職者の写真が映写され名前が読み上げられた。
- 日本は、死者を想いだして悲嘆にくれた、と報道
- 業績を讃えて、今後も記憶し続けるという意味



2011.2.10

状況の意味付けの揺れ

15



音楽の教養: ショパン作曲「遺作」

- 国連のハイチ地震殉職者の式典でのBGM
- 日本は、ショパンの死にちなむ追悼曲と解釈
- ショパンには、葬送の曲が別に二つある
- 死後に発見された業績という意味
- 殉職者の業績を賛美するための選曲

- パン・ギムン国連事務総長の演説
 - 日本では追悼の部分を報道
 - 大部分は殉職者の業績の賞賛だった

2011.2.10

状況の意味付けの揺れ

16



宗教：蠟燭というモチーフ

- 2010年3月 国連職員のハイチ地震犠牲者追悼式



- 101本の蠟燭に点灯された
- 日本は、犠牲者の追悼と報道(灯籠流しの連想)
- 仏壇の蠟燭は、仏陀や先祖の英知や業績の意味。
- 看護学校の卒業時の戴帽式の蠟燭

2011.2.10

状況の意味付けの揺れ

17



戦争：元寇

- 第一次の元寇は出発から1か月で退散
- 退散の理由はいくつか推測されている
 - 将官が負傷した。日本軍の戦闘の成果。
 - 偵察の目的を達した。日本兵は死を賭して国を守る。
 - 矢玉・食料が残り少なくなった。現地調達に失敗。
- なぜ強風の被害を受けたか
 - 日本船による夜襲に手を焼き、沖に停泊したから
- 防戦ながら日本占領を阻止した武士たち
- 第二次の元寇は出発から2か月で退散
 - 矢玉・食料を増やさないと征服できないと考えた
- 元軍は海に弱い ベトナム、インドネシア

2011.2.10

状況の意味付けの揺れ

18



戦争：日本海海戦はT字航法

- T字戦法は公式記録にない。フィクションである
- ウラジオストック港へ寄港されたら日本に勝ち目なし
- 通せん坊をするためのT字航法説が有力
 - 傍証： 朝鮮半島側で待って、日本側へ誘導
 - レシプロ蒸気機関は加速が鈍いので、走行して反転する必要
- 時計周りに半周して、通せん坊が破綻した時期あり
 - 一部の日本船隊が命令ミスで12時側にいたのでカバー

作戦＝戦法ではない。作文＝文章ではない

2011.2.10

状況の意味付けの揺れ

19



戦争：八甲田山雪中行軍遭難事故

- 日清戦争での雪中の遭難事故を契機に改善盛ん
- 1902年 青森隊の研究行軍で210人の大部分が死亡
- 国民は追悼と賞賛。報道、芝居、映画、歌で。
 - 見事な雪中行動、組織管理、英雄的行為
- 各隊の研究成果が日露戦争以降に活かされた
- 1971年 新田次郎が乱れた組織として創作小説に
- 新田次郎小説を元に映画「八甲田山」
- 戦争を知らない世代が史実と誤解

簡単に軍国主義に転換しそうな報道と国民

2011.2.10

状況の意味付けの揺れ

20



映画「硫黄島からの手紙」

- 副主人公のパン屋の西郷に招集令状が来たシーン
 - 徴兵しないで、と取り乱す身重の妻(悠木奈江)
 - 「お国のためにご奉公します」と言う夫(二宮和也) 適役
- 与謝野晶子: きみ死にたまふことなかれ
 - 生存を願うのは女性の役割。
 - 夫与謝野鉄幹は好戦論
- 米国人は、この映画を観て泣かなかった。
 - 専制国家と誤解していた日本が民主国家だったと気づく
 - 気づかせたイーストウッド監督を讃えアカデミー賞候補に
- この映画や米国人を理解できない日本人が多い

2011.2.10

状況の意味付けの揺れ

21



階級に応じた態度の配分

	強さ	弱さ
西郷一等兵	従順	やる気の欠如
清水上等兵	思いやり	敵への投降
伊藤中尉	勝ちたい戦術	上司への不服従
西中佐	勇敢さ、社交性	負傷後の自害
栗林中将	時間稼ぎ戦略	最後の突撃

- 短時間の映画のために5人に明解に態度を分散した
- 我が師、青木武一氏(海軍大尉)の談義
「うん、軍人はいろいろ考えるよ」

2011.2.10

状況の意味付けの揺れ

22



尖閣ビデオ流出事件

- 「流出させた職員が法律に詳しくて驚いた」という報道
 - 「驚いた」ということに私なら驚く
- 現行犯逮捕の専門課程を修了する職種
 - 警察官、鉄道公安官、海上保安庁、税関、自衛官…
 - 写真やビデオの専門課程もある
- 検察官問題
 - 個人の資質や能力のせいにして済ませられる問題でなく、組織の風土と文化に巣くう病理(朝日)
 - チェック機能の形骸化とともに、幹部検察官の資質が劣化(読売)
 - 独任性(一人一組織)を肯定するのか否定するのか？

2011.2.10

状況の意味付けの揺れ

23